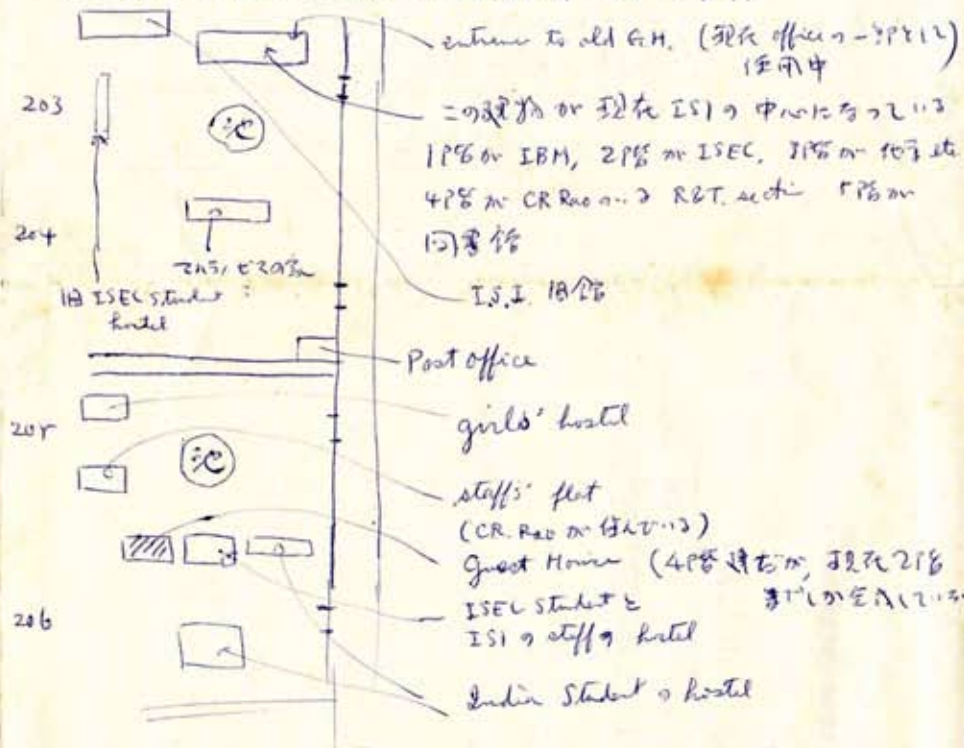


クリスマスカードも有かとうござりました。
すでに2週間を、インドの生活にも少しづつ慣れて
来ました。

奥野さんが居られた頃と異なる点をいくつか発見
しました。 Mr. Sukumar Mitra によると、現在私の
住んでいる Guest House は 205, BT Rd. にあって、奥野さん
の居られたのは違っています。 およその配置は下図の
ようになります。 ISEC Student の hostel も書けています。



インド人の生活も、この5年間にある程度向上したので
ないかと感じます。左に、また、街路で寝ている者、
金をせびる者がいます。奥野さんからは ~~聞か~~ 予想して
程ではありませんでした。(私の estimate が違つたのかも知れません)

Guest House の使用人も特に4F までほしがらざる
ものは見られません。

部屋に一人でも居るべきので、きつめておいた人には
ISEC student の hostel に遊びに行きます。(20m (か部外で?)
御着は食事の悪さに大不満です。ここに131向に4F まで
行くつもりです。

御着の exercise を見せてもらいましたが、 m_2 や m_4 の
計算などを見せていました。そのくせ、ヒストグラム
を書かせて、 $\hat{\mu}$, $\hat{\sigma}$ を計算させるとメモして向進
だらけです。今の標準偏差の公式はスラスラ書くのに
 $\hat{\sigma}$ の計算は手習っている。etc. 今布の話も、理論的
な話だけで、そのが具体的な問題とどう結びつくのかとい
う点も誘ふかといふと今、よりに見せようとする。
今度使った通信教育テキストの内容を半分位にして、
英訳した ISEC の text として最適なものがあるのでは

ISI の translate section で日・中・韓を学んでいる
Mr. J.P. Roy Chowdhary さんに日本語を教えています。彼は日
字術会議の報告を訳してこの中で、不明な点がいろいろある
(おとすわけです。報告を見ましたが、日本人が読んで、英
訳も通じないと意味がわからない。よる悪文で、 $\hat{\mu}$ のこと、
その交際として、私の lecture note に手を入れている。手
仲の悪い状態になります。今夜は Xmas 17 で、師の家
に招待されました。

前回の平紙に ISI の IBM は FORTRAN は使えず、²⁰³
FORTRAN を使っていました。使ったのは
いつか交換してくる予定です。

ここでは99%英語で生活し、何とかして英語で表現しなければならぬという強制の下にいて、英語で考えようというようになります。この場合、英語で考えれば、表現が貧弱であるから、考えの豊かさを保つておく必要があります。しかし、言葉が大切であるか、わかり易いこと、幸い、日本語はからり浮遊する事も表現でわかるが、東南アジア、アフリカの各国では、わかる外国語で考え、理解しなければならぬわけですが、細差の字力が伸び伸びするのにも止むを得ないところと同様です。

何はともあれ、外国へ来て、外国人の中で生活すること、私にとって大益を齎しに存じます。二つ、折合て与へ下され、増山先生や、早野さんの感謝いたします。

では 正

この新聞が第1回は新年に当たってからというおぼろげ。

謹賀新年
1966. 新春

BY AIR MAIL

हवाई पत्र
AEROGRAMME
NO ENCLOSURES
ALLOWED



Dr. & Mrs. T. Okuno

883, Tanashi-machi,

Kitatama-gun, Tokyo

JAPAN

Corr-66

田舎所

Sender's name and address:-

T. Hega
Guest House
1, 2, 3
205, Barrackpore Trunk Rd.
Calcutta-35, INDIA

24/12/1965

To open cut here